

2001年3月21日

### 頂いたご意見

残念なことながら、倫理規定のいくつかは問題を含んでいるか、むしろ有害であると感じております。

即ち、憲章2、安全優先への戒め、経済性優先への戒め、慎重さの要求、技術成熟の過信への戒め、公衆の安心、会員の安心への戒め、3-3~4-1、守秘義務の各項等々は無内容、あるいは一見妥当のように見えるが、単に大衆迎合しているに過ぎない。マスコミや政治家、普通の人には聞こえが良いが、学問や学会がとるべき道、指針を示していないと思われます。また、条件付ながら、勧めている情報の一方的公開(2-4、5-3)は個人の勇気にかかわるものである。このような問は、「果たして死してまで他人を助けることができるのか」という問いに近い。自分の心と向かい合えば、安易にこのような内容に同意するわけにはいきません。

### 頂いたご意見に対する委員会の見解

この問題が非常に重たいものであり、また個人の勇気にかかわるものであることもご指摘の通りです。それだけに学会の倫理規定に入れ、日常的に会員に考えていただきたいのです。これまで技術者倫理については大学などで講義がなされてこなかったと思います。また、日常的に倫理の問題を考えている技術者は非常にまれだと思います。しかし巨大技術は公衆の安全を脅かす可能性のあるものであるだけに、問題が生じたときは技術者が個人的に責任を問われることがありうるのです。刑事事件の犯罪人にならないためにも、会員は倫理的にとるべき道は何かを常に自問している必要があります。

なお、倫理規定は「死してまで他人を助けよ」とは言っていません。内部告発が最良の手段だとも言っていません。「まず所属する組織が健全な状態にあるかどうかを自問せよ、問題があるなら解決するよう努めよ、解決できず公衆の安全に危害を及ぼす危険性がある場合は外部に情報を公開せよ」と言っているのです。

ご意見を提出されたかたは大学にいらっしゃるようですが、是非学生に技術者倫理について考えるよう指導していただければ幸いです。

### 頂いたご意見

一体安全性とは何か、経済性が優先するとはどのようなことか、経済性と安全性とをどのように比較するのか、過信することとはどのようなことか、安心を押し付けるということとはどのようなことか、慎重とはどのようなことか、このようなことをきちんと議論していない。倫理の深み、哲学が感じられません。

### 頂いたご意見に対する委員会の見解

ご指摘の通り、「安全性とは何か」等々の問題は個別のケースごとに微妙に異なってきます。したがって倫理規定はそれに従えば自動的に倫理的問題を解決できるというものではありません。例えば、経済性を考えるときには安全性にも配慮し、安全性を考えるときには経済性にも配慮するが、両者が相反する場合には安全性を優先することを言っています。し

かし、個々のケースで問題は単純ではありません。倫理規定を定めることで具体的にどうあるべきか議論が開始されることをまず願うものです。

#### 頂いたご意見

すでに我々はエネルギーに極めて多くを依存し、またリスクや環境、経済のぎりぎりの縁に居る。これらの大小、損失と利得を学問の限りをつくして解明し、評価する。安全ばかりか環境もある程度の犠牲を強いられることもある。つまりリスクや環境と経済の問題に真正面に、真摯に対峙し、研究し、説明する、そのような必要がある。その意味から、一般人やマスコミには正しい認識や知識、方法論、議論を提示し、むしろ今は無知がはびこる社会やマスコミとは対決をしなければならない状況にさえある。倫理規定にあるような、歯の浮くような無内容は小生にはむしろ、嘘、ごまかしの類いにしか感じられません。

#### 頂いたご意見に対する委員会の見解

専門家には専門家の責任があるという意味でしたらその通りです。したがって規定では<科学的事実の尊重>、<科学的事実の啓蒙>などを取り上げているのです。もし、科学的事実に反する場合は社会に対して発言するのも会員の使命と考えます。

#### 頂いたご意見

このような規定ができたとしても、事故はほとんど減らないし（皆無とは言いません）、企業活動の本質は変わらないと思われます。むしろ、事故を起こした時、当事者への詰問のための根拠、学会のいいわけを作るにすぎない。マスコミや社会の、学会や原子力への不信も変わらないし、また事故が起これば、むしろ増幅すると思われる。事故や経済性追求、糊塗や言い訳は、人間の性と言っても良い、弱さ、本質にかかわるものである（と信じる）からです。倫理規定によって事故が減る、安全性が増すなどと考えることはおこがましい。事故はむしろ必ずあり得る。そのことを正確に社会に伝える必要がある。おそらく、どのようにしたら事故を減らせるかは、技術や組織の合理的ありかた、学問やテクニカルな問題で、提案されたような倫理で改善することは殆どない。どの程度の事故の大きさ、頻度、環境への被害まで受容できるかは、経済学や社会学、またP S A等の進展から解答が出ると思われます。安全性は技術ばかりか社会学、経済学、人間学、にまたがる壮大な研究対象であり、倫理規定で述べていることは結論に近い。しかし、これを学問の立場からまず疑うものであります。

#### 頂いたご意見に対する委員会の見解

倫理規定さえできれば事故が減るとは考えておりません。技術や組織等の問題がより大きいことご指摘の通りです。ただ、倫理について深く考えなかったために倫理上の問題を引き起こすということもありえます。その意味で技術者は倫理の問題について考える習慣をつけるべきだと考えます。

#### 頂いたご意見

精神論であっても、とりわけ原子力は危険と裏腹であり、絶えず安心を戒め、注意を喚起することは大事である。問題提起になる。倫理規定が職場に貼られれば実効もある。とい

えば、それはそうでしょうが、お役所が通達を出すのと大して変わらない。他の各項の多くも、至極当然な内容は多いものの、小生には単なるＪＣＯの過敏な対応、一方的反省＝土下座、内向き、束縛としか感じられません。学会は成熟した会員の、自由な考えや、行動の発露の場である。どのような心構え、言行の規範、戒め、相互監視も無用、むしろ自由な発想を阻害し、原子力技術者や企業をして萎縮、卑下させ、あるいは日陰者にするという考え方もあり得る。ＪＣＯを社会的にどのように評価するのか、それは学問的には、我が国はまだ赤ん坊の状況で、全くわかっていないと考えます。チェルノブイリやＴＭＩとどの程度の差があるのか、ＪＣＯや動燃での種々の事故は、当事者にも問題は少なからずあるとしても、社会にも許容、寛容を求める位の性質のものと考えます。会員の真剣な研究、相互、あるいは社会との健全、活発かつ真剣な議論が不可欠です。

#### 頂いたご意見に対する委員会の見解

会員の真剣な研究、相互、あるいは社会との健全、活発かつ真剣な議論が不可欠なことはまさにその通りです。その一つとして倫理問題があります。学会としては倫理規定委員会を継続設置し、倫理問題の成熟をはかっていくよう努力します。

#### 頂いたご意見

確かに、原子力は社会との対峙が他の学問分野以上に要求され、政治に巻き込まれる宿命と歴史があります。しかし、不幸にして、ことあるごとに、原子力や技術者がさらされてきたのは、真実や学問の成果、技術者の使命感や責任感とは無縁の、むしろ不本意な、政治的解決の連続であったと思われまます。規定の精神はわかりますが、内向きであり、方向違いである。学会は愚鈍に真実を追求し、成果を主張し続ける努力をし続けなければならない。学会は、いかにして社会に役立つ学問を誘起し、発掘し、育てるか。政治やマスコミにむしろ耳障りな内容でも正確に発信するか、意見を述べるか、そこに努力を傾注しなければならない。安全性と経済性、どこまで安心、何故過信、わからないことはわからないと言わなければならない。

#### 頂いたご意見に対する委員会の見解

社会に対して学会が発言していくことは今後ますます重要になり、かつ一般の人々からも要望されることが考えます。社会からの一層の信頼感を得るためにも、会員が技術者倫理について考える機会を与えるのは学会の役割の一つと考えます。

#### 頂いたご意見

勿論、規定そのものの内容には真摯な検討のあとは見られます。内容そのものに多くの異論を称えるものではありません。しかし、事故が何故起こるかという問題に精神論で対処しようとすることに近く、問題の所在箇所の特定や合理的解決の方向性はむしろ見失った内容になっています。また、「会員の心構えと言行の規範を定める倫理規定」などという、謙虚さを欠いたように聞こえる表現自体に、このような規範は人間ならば、また原子力やるものならば当然だろう。さもなければ、である。過去に聞いたことがある、ファシズムに続く、我が国独特の精神風土、言葉や議論が無い、問答無用の泥沼の臭いを感じて

います。到底、全員が一致して、かくも多くの規定に賛同するわけが無い。少なくとも、小生はどのような規範にも縛られない、縛られるとしても極めてわずかな規範であると考えています。

#### 頂いたご意見に対する委員会の見解

極めてわずかな規範を提示することだけで会員が十分に考えるようになるというのならそのようにするのも一つの方法です。しかし短く美しい言葉にはなんとなく同意してしまい、問題を更に深く考えさせる材料にはなりにくいのではないかと懸念しています。会員は先生のように常に深く考える人間だけとは限りません。考える出発点としてもらうという意図で、あえて疑問を感じるような表現も採用しております。